

自然災害からくらしを守る

本時のねらい

災害時、人々の安全を守るために多くの関係機関が働き、その中でも生活を守る電力会社の役割について理解できる。

災害時における最前線で活躍する人々の働きを知ること、自らの災害に備えた取り組みや、災害時にできる取り組みについて考えることができる。

使用する図解

- 図解17 ①電力会社の緊急車両(赤色灯部分)
 ②電力会社の緊急車両(全体)
 ③東日本大震災の被害復旧に向かう電力会社の緊急車両
 ④電柱を建てる作業車

指導過程

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
10分 (10分)	<p>1 地震災害に備えて普段行っていることを考える。</p> <p>(1) 学校での取り組みや家庭での取り組みについて意見を出し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 避難訓練をしている 防災グッズを家に置いている 地域の防災訓練に参加している <p>2 地震が起きたとき、困ると予想できることを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水の確保 ・ ガソリンの確保 電気の確保 	<ul style="list-style-type: none"> 地震に備えて学校や家庭で行っていることを考えさせる。 地震が起きたときには個人のレベルで乗り越えられないことがあることを実感させる。 <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の様子の写真提示 避難後の生活をイメージする写真提示 地震が起きたときの状況を具体的に想像させ、生きていくために必要なものは何かを考えるようにする。
20分 (30分)	<p>3 本時の課題をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>災害復興に向けて活躍している仕事について考えよう</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 図解17-①,②を提示し、このランプは何で、どんな車両についているか考えさせる。

時間	児童・生徒の活動	教師の支援
5分 (45分)	<p>4 災害時に現場に一番早く行く必要があることを考える。</p> <p>(1) 水や燃料は運ぶことができるが、電気は電線をつなぎ電気が送られる。</p> <p>(2) 電気で動くものが多く、少しでも早く現場に向かうため。</p> <p>5 電気会社は、電気をつくる会社だけでなく、電気をつなぐ大切な仕事をしていることに気づく。</p> <p>6 本時の課題について考える。</p> <p>(1) 当たり前のように送られてくる電気仕組みについて電力会社の仕事と関係づけて考える。</p> <p>(2) 本時の学習について考えたことを学習カードにまとめる。</p>	<p>● 電気会社の車に非常点滅灯が必要な理由を考えさせる。</p> <p>● 図解17-③,④を提示しながら、トラックの中にどんなものが入っているのか、どんな仕事をするための車なのか考えさせる。</p> <p>● 災害時と電力会社のかかわりについて本時の学習を振り返る。</p>